



2021

1

January

五感で楽しむ
那須烏山



あけましておめでとうございます
(12月18日、烏山保育園)



なす からすやま

No.184



特集 知ってる?市役所のしごと...	2
第8回市議会.....	8
ふれあいの里が厚生労働大臣優秀賞...	10
新型コロナウイルス感染症.....	11
ご長寿おめでとうございます.....	12
インフォメーション.....	14
保育園・幼稚園で生活発表会.....	16

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



新烏山庁舎

皆さんの身近にある市役所。実際にどんな仕事をしているか知っていますか？

市役所の役割は、市民の皆さんが快適に生活を送ることができるように行政サービスを提供することです。身近なものではあるけれど、どんな仕事をしているかよく分からないという人も多いのではないのでしょうか。

今月から2回にわたり、どの庁舎にどんな課があるか、各課ではどんな仕事をしているかなど、皆さんのまちの市役所をまるっと紹介します。

五感で楽しむ
那須烏山

みんな知ってる？
市役所の
しごと

市役所ってどんなところ？

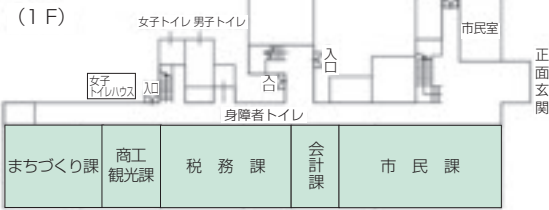
市役所では、ごみの回収や道路の整備、福祉、教育に関することなど、皆さんが安心・安全で快適な生活を送れるよう様々な仕事を行っています。日常生活に関わるもののほか、観光プロモーションや災害・火災の緊急時対応など、皆さんの目によく触れるものから普段はあまり表に出ないものまで、仕事は多岐にわたります。

庁舎は全部で4つ！

本市は、業務によって庁舎が分かれている分庁方式で、烏山庁舎、南那須庁舎、保健福祉センター、水道庁舎の4つの庁舎があります。また、このほかにも図書

フロアマップ

◆烏山庁舎



(2F)



◆水道庁舎



※会計年度任用職員：4月1日から翌年3月31日までの間で年度を超えず採用される職員。

館や公民館、スポーツ施設、こども館、幼稚園、保育園、小学校、中学校、学校給食センターなど多くの施設を管理しています。市によっては、一つの庁舎ですべての業務を行うところもあり、これを本庁方式といいます。

組織と開庁時間

市役所には、様々な業務に対応するため、4庁舎で併せて14の課と1つの局があります。烏山庁舎には総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、市民課、商工観光課、会計課があり、南那須庁舎には、市民課南那須分室、農政課、都市建設課、議会事務局、学校教育課、生涯学習課があります。そのほか、保健福祉センターには健康福祉課、こども課があ

り、水道庁舎には、上下水道課があり、それぞれが手分けして仕事を受け持っています。

開庁時間は、平日の午前8時30分から午後5時15分までです。また、毎週木曜日には、烏山庁舎（税務課、市民課、会計課）と保健福祉センター（健康福祉課、こども課）で午後7時まで窓口延長業務を行っています。取り扱い業務は限られていますので、あらかじめご確認をお願いします。

職員のついで

市役所では、正職員のほか、会計年度任用職員（※）なども含めて約360人の職員が働いています。（1月1日現在）

職員は、様々な職種があり、窓口対応や計画の作成などを中心に行う一般事務員のほか、専門的な仕事を行う職員もいます。市民の健康づくりや福祉向上のための仕事を行う保健師や管理栄養士、社会福祉士、公共施設や建築物の管理などを行う建築士、幼稚園・保育園で園児の成長を支える幼稚園教諭や保育士、児童・生徒などのカウンセリングを行う臨床心理士、文化財の調査や保護を行う学芸員など、それぞれの職員が各分野で仕事をしています。

こんなときはどの課？

・ 保険証をなくしてしまった！

国民健康保険証および後期高齢者医療保険証は再交付の申請ができます。市民課 烏山庁舎および南那須庁舎で申請を受け付

けています。

・ 婚姻届を祝日に出したい！
婚姻届は土・日曜日および祝日も、烏山庁舎日直室で受け付けしています。内容の確認が必要となる場合がありますので、あらかじめ開庁日に市民課までお問い合わせください。

・ ごみの分別が分からない！
ごみの分別は、全戸配布しているごみカレンダーで確認できます。また、スマートフォンで「那須烏山市ごみ分別アプリ」をダウンロードすると、ごみカレンダーのほか捨て方や注意点なども調べられます。その他不明な点は、まちづくり課までお問い合わせください。

・ デマンド交通を利用したい！
デマンド交通とは、市内の希望する場所から目的地への移動手段を低額で提供する乗り合いの公共交通サービスです。市内全域が対象ですが、利用するには事前登録と予約が必要となります。まちづくり課までご連絡ください。

各課をグループごとに紹介します！

15の課および局には、全部で49のグループがあり、それぞれが専門的な業務を担っています。1つの課で解決できないときには、複数の課が連携しながら業務を行います。

次のページからは、烏山庁舎と水道庁舎でどのような仕事をしているかを紹介します！

各課紹介

ぼくたちは、まちづくり課でお仕事しているよ！



※職員数には、正職員のほか会計年度任用職員や派遣により県庁などで仕事をしている職員も含まれます。

会計課

職員数 5人

電話 0287-83-1119

各グループの仕事

会計グループ

税金などの公金を収納するほか、市役所全体の公金支出の窓口として支払い業務を行います。各課で処理した書類を審査してから請求者に支払いをしています。

また、公金の預金状況などを確認するとともに、日頃から金融機関などと調整し、速やかに適切な公金管理ができるように努めています。

皆さんへお知らせ

納税などは、口座振替制度が便利です。金融機関に備え付けである「那須烏山市税等口座振替依頼書」に必要事項を記入し、押印のうえ、金融機関に提出してください。



支払いに不備が無いかを確認

税務課

職員数 19人

電話 0287-83-1114

各グループの仕事

収納管理グループ

軽自動車税、入湯税、たばこ税の課税のほか、税証明の発行業務や市税の収納業務などを行っています。

税金の支払いは、金融機関窓口のほか、コンビニエンスストアや口座振替、PayPayアプリを利用したバーコード決済にも対応しています。

徴収対策グループ

税収の確保と納税の公平性を保つため、滞納整理を行っています。納期限までに市

税などの納付がない場合は督促し、納付が難しい人には納税相談を行っています。

市民税グループ

個人市民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、法人市民税の課税を行うほか、市内小学校で租税教室を行っています。また、毎年2月中旬から3月中旬の確定申告の受付業務を行っています。制度が頻繁に変わり、分かりにくい点もあるでしょうが、皆さんにご理解いただけるよう取り組んでいます。

資産税グループ

土地・家屋・償却資産の課税を行っています。課税は毎年1月1日を基準日とし、固定資産の所有者として登記簿に登記などしている人または現に所有している人が

対象です。公平・公正でかつ適正な課税のために、土地および償却資産の現地確認や新増築家屋の評価を行います。土地の利用状況を変えたり、家屋の新増築・取り壊し、太陽光パネルを設置したりした場合は、税務課までご連絡ください。

皆さんへお知らせ

今年の確定申告は感染症対策のため、国税庁ホームページを活用したインターネットや郵送などでの申告を推奨しています。自宅のパソコン（ICカードリーダーが必要）またはスマートフォンでマイナンバーカードやID・パスワード（税務署で取得できます）を利用した電子申告のほか、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で申告書を作成し、税務署に提出できます。



市内小学校での租税教室

市民課

職員数29人

電話0287-83-1116

各グループの仕事

市民窓口グループ

住民票などの証明書の交付、住民票の異動に関する届出などを受け付けています。また、戸籍などの証明書の交付のほか、出生届や婚姻届など各種戸籍に関する届出を受け付けています。このほか、印かん登録、自動車臨時運行許可、住居表示、国民健康保険の加入・喪失、国民年金の加入・喪失、人権に関わる業務のほか、窓口案内、マイナンバーカードの交付、旅券の申請受付・

交付などの業務を行っています。

国保医療グループ

国民健康保険と後期高齢者医療制度の運営を行っています。主に、国民健康保険などの資格管理、医療費（療養費）や高額療養費などの申請受付・支給、出産育児一時金や葬祭費の申請受付・支給のほか、診療報酬明細書などの点検を行い医療費の適正化に努めています。国民健康保険や後期高齢者医療制度に加入している人の特定健康診査や特定保健指導、人間ドック・脳ドックの検診補助などの保健事業、七合診療所や熊田診療所の管理・運営も行っています。

皆さんへお知らせ

・住民基本台帳は氏名、生年月日、性別、

世帯主との続柄などが記録されているもので、国民健康保険、国民年金、児童手当など各種行政サービスの基礎となっています。行政サービスを確実に受けるため、異動があった時には速やかに住民異動届を提出してください。

・マイナンバーカード（個人番号カード）は、今後、各種行政手続きに必要になります。また、保険証としても使用できるようになります。まだ取得していない人は、早めに取り得しましょう。

・糖尿病や高血圧性疾患などの生活習慣病を早期発見し、いつまでも健康な生活を送るため、年に1回は特定健診を受けましょう。

市民課南那須分室は2月号で紹介します！

笑顔で窓口対応



商工観光課

職員数9人

電話0287-83-1115

各グループの仕事

商工振興グループ

那須烏山商工会や金融機関などと連携し、各種補助制度や融資制度を中心に商工業振興施策に取り組むとともに、企業の誘致・立地を推進するなど、地域経済の活性化に努めています。また、消費生活センターを設置し、商品やサービスなどに関する相談を受け付けるほか、消費者被害を防ぐため

の啓発活動を行っています。

観光振興グループ

市観光協会やJRR東日本などの関係機関と連携し、山あげ祭の運営支援やイベントを開催するとともに、パンフレットや市ホームページ、SNSを活用した観光PRや土産品の開発を進めるなど、観光客の誘客に努めています。また、山あげ会館や龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設などの維持管理のほか、映画やドラマなどの撮影場所の誘致や撮影支援を行っています。

皆さんへお知らせ

・令和3年3月に改修工事が完了する龍門

ふるさと民芸館では、観光客への情報発信だけでなく、市民の交流の場となる「龍門カフェ」を新規オープンします。地元野菜を活用した季節メニューのほか、島田うどんを使ったカレーパンや、龍門の滝をイメージした「龍門サイダー」などを販売します。施設に隣接する駐車場も拡張いたしますので、ぜひ、お越しください。

・事業者向け市新型コロナウイルス感染症対策取組支援金の申請期限は2月1日(月)までとなっていますので、早めに申請してください。詳細は、市ホームページなどでご確認ください。

市内外のイベントで市の魅力をPR





事故が起きないようにカメラミラーの向きを調整

総務課

職員数24人

電話0287-83-1117

各グループの仕事

人事グループ

職員の採用、人事管理、給与の支給、福利厚生業務のほか、市表彰式の開催や中学生・高校生などのインターンシップの受け入れを行っています。

行政グループ

選挙管理委員会の運営をはじめ、条例や規則などの制定や改正・廃止、情報公開、行政区長・副行政区長の任命などを行っています。

います。

契約管財グループ

庁舎や市の所有する土地、建物、山林および公用車の管理をしています。未利用の土地や建物は、市ホームページなどに掲載し、公売や賃貸借を行うほか、公共工事などの入札や工事検査を行っています。

危機管理グループ

交通安全教室やカーブミラーの設置・管理など交通事故防止に取り組むほか、防犯灯の設置やパトロールなど、防犯対策を推進しています。また、「地域防災計画」に基づき防災・減災に取り組む、災害が発生したときは、消防署や警察署などと連携して、

災害対応に当たります。さらに、消防操法大会などの運営や消防団員の福利厚生など、消防団組織の運営を行っています。

皆さんへお知らせ

・防災・行政情報をお知らせするスマートフォンアプリ「防災Infoなすからすやま」を運営しています。65歳以上の高齢者や障がい者、乳幼児がいる世帯へは戸別受信機を無料でお貸ししています。また、「市防災・行政情報メール」も配信しています。
・市選挙管理委員会では、今年度から18歳の誕生日を迎え新しく有権者となった人にハガキを送付するなど、選挙啓発の充実に努めています。



広報担当が市民にインタビュー

総合政策課

職員数18人

電話0287-83-1112

各グループの仕事

秘書政策グループ

市長、副市長の秘書業務のほか、市政の調整や「総合計画」の進捗管理など、総合的なまちづくり施策の調整を行っています。また、新庁舎の整備構想や土地利用の事前協議、公共施設の管理調整などを行っています。

情報統計グループ

市役所の情報機器やネットワークの管

理・整備を行っているほか、情報セキュリティ対策やオープンデータの公開、マイナポイントの申請支援を行っています。また、国勢調査をはじめ、市の毎月人口調査や工業統計調査、農林業センサスなど国・県の各種調査を行っています。

広報広聴グループ

「広報なすからすやま」や「広報お知らせ版」発行のほか、市の魅力を市内外の多くの人に知ってもらうため、市ホームページ、Twitter、Facebook、LINEを運営しています。また、市政懇談会を開催するほか、メールや書面による広聴箱の設置や行政相談委員による行政相談に

より、広く皆さんの意見や要望を聴く広聴業務を行っています。

財政グループ

市政を運営するために必要な経費と財源を予算としてまとめ、市のお金が正しく使われているかを確認します。また、ふるさと納税などの寄附金の受け入れや国からの交付金の計算を行います。

皆さんへお知らせ

マイナポイントの申請期限が9月まで延長になりました。鳥山庁舎の市民課で申請を支援しますので、申し込みがまだの方はこの機会に申し込んで5000ポイントをもらいましょう！



毎日水道施設の稼働状況を確認

高校生に市内の公共交通の必要性を講義



まちづくり課

職員数 14人

電話 0287-83-1151

各グループの仕事

地域づくりグループ

交通政策では、JR烏山線や市営バス、デマンド交通の利用向上に努めているほか、JR東日本と連携してイベントを企画したり、利用方法をお知らせしたりしています。まちづくり支援では、「まちづくりチャレンジプロジェクト事業」を活用した公共の担い手育成や、まちづくり団体・NPO法人からの相談を受け付けるなど、まちづくりに取り組む市民を応援しています。また、烏山高生が地域について学ぶ「烏山学」

も支援しています。

定住推進グループ

市内に住宅を取得した人の補助制度や市空き家等情報バンク制度など、定住支援の業務を行っています。また、特設サイト「なすからいふ」による情報発信や移住フェアへの参加など、本市の認知度向上や魅力発信に取り組んでいます。そのほか、「地域おこし協力隊」の受け入れや、本市出身者による「ふるさと烏山会」の活動を支援しています。

環境グループ

ごみの収集、資源化・減量化のほか、公害対策や地球温暖化対策、動物愛護などの業務を行っています。また、皆さんから寄せられた生活環境に

関する相談に対応するほか、ごみの出し方やペットの正しい飼い方、省エネルギーの取り組みについて、お知らせしています。

皆さんへお知らせ

・市空き家等情報バンク制度に登録しませんか？この制度は、市内に空き家・空き店舗を持っている人が売却、賃貸を希望する物件情報を市に登録し、空き家などを買いたい・借りたい人に紹介するものです。詳細は、市ホームページ「空き家情報バンク制度」で確認するか、まちづくり課までお問い合わせください。

・プラスチックごみは、環境に大きな影響を与えます。プラスチックごみ削減のため、エコバックの利用やごみの分別などにご協力をお願いします。

上下水道課

職員数 11人

電話 0287-84-0411

各グループの仕事

業務グループ

水道料金徴収や未納者への督促状送付、給水停止を執り行う業務のほか、水道事業の予算・決算業務、資産管理などを行っています。

工務グループ

取水・浄水施設や送配水施設など市

内に56ある水道施設の維持管理、水道検針・管理、各家庭の水道の開閉栓、工事受付・審査、漏水調査、道路工事に伴う水道工事などを行っています。

下水道グループ

烏山地区、南那須地区にある2か所の下水道施設と興野地区にある農業集落排水施設の整備や維持管理、受益者負担金、使用料などの管理を行っています。また、浄化槽の設置や維持管理など各種届出の受付・審査、下水道以外の地区に浄化槽設置を促進するため

の補助金交付などを行っています。**皆さんへお知らせ**

・台所やお風呂などの排水口は、川や海への入り口です。生き物や自然を守るためにも下水道への接続や浄化槽の設置をお願いします。

・水道料金の支払いが納付書払いの場合、バーコードによりPaypayアプリでもお支払いができます。

・「あれ？晴れているのに水溜まりが」なんてときには、水道の漏水かもしれませんので、気軽にご連絡ください。

今月は、烏山庁舎と水道庁舎の仕事を紹介しました。次回の2月号では、南那須庁舎と保健福祉センターの仕事を紹介します。



補正予算、条例の制定など10議案を議決

一般会計予算総額は149億4827万1千円に

令和2年第8回市議会12月定例会が11月30日(月)から12月8日(火)まで9日間の日程で開かれ、令和2年度補正予算案や条例案、人事案など10議案が原案どおり可決され、2件の報告がありました。また、陳情書1件を採択しました。詳しくは、議会事務局 ☎0287-8817114までお問い合わせください。

令和2年度の補正予算

○一般会計

一般会計予算の歳入・歳出をそれぞれ2億9172万7千円増額し、補正後の予算総額を149億4827万1千円としました。

歳出の主な内容として総務費は、ふるさと応援基金積立金として561万5千円、市有施設の修繕および老朽化した看板解体のための市有財産管理費237万1千円、民生費は、障がい者介護給付、訓練等給付費6057万5千円、障がい児支援事業費2675万4千円、私立保育施設運営委託事業費4212万6千円などです。

農林水産業費は、旧「市民ふれあい農園管理棟」の解体のための農業総務費763万4千円、土木費は、除雪対策や道路路面の補修、支障木伐採のための道路維持管理費1183万7千円、

道路整備を予定している二路線の測量などの調査のための道路整備費847万6千円などです。

教育費は、国体開催整備事業費1132万7千円、東京オリンピック・パラリンピック事業費417万2千円、緑地運動公園管理費422万6千円などです。

災害復旧費は、令和元年東日本台風で被災した農地・農業用施設災害復旧事業費4945万4千円、県が施工する荒川災害復旧事業の本市負担分の公共土木災害復旧事業費1500万円などです。

一方、歳入は、災害復旧のための農地・農業用施設災害復旧事業費分担金24万6千円、農地等小災害復旧事業債380万円、ふるさと応援寄附金や社会福祉事業費寄附金522万6千円などです。

○特別会計

国民健康保険特別会計の診療施設勘定予算は、歳入・歳出をそれぞれ20万8千円増額し、補正後の予算総額を4962万8千円としました。歳出の主な内容は、七合診療所の検査機器のリース契約費です。

後期高齢者医療特別会計予算は、歳入・歳出をそれぞれ72万6千円増額し、補正後の予算総額を3億7031万9千円としました。歳出の主な内容は、税制改正による後期高齢者医療制度の見直しに伴う後期高齢者医療システムの改修費です。

介護保険特別会計予算は、歳入・歳出をそれぞれ384万1千円増額し、補正後の予算総額を27億9194万5千円としました。歳出の主な内容は、令和2年度の介護報酬改定などに伴うシステム改修費や今後の不足が見込まれる保険給付費などです。

条例の制定と一部改正

・無秩序な開発やそれに伴う災害などを抑止するため、「土地利用適正化条例」を制定しました。これは、一定規模以上の開発に対して、近隣住民への事業内容の周知や適正な事業を行うよう事前指導するものです。

・昨年10月の人事院勧告に基づく公務員の特別給の引き下げに準じて、市長、副市長および教育長の期末手当を引き下げ、市長および教育長の期末手当を引き下げ、市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正しました。本改正により、市議会議員の期末手当も同様に引き下げられます。

那須烏山市教育委員会会報

2年度「第2四半期」7月～9月

第8回教育委員会（7月31日）

○区域外就学の許可を承認

○令和2年度那須烏山市一般会計（教育費関係）補正予算（第3号）を承認

○令和3年度使用中学校用並びに小・中学校特別支援学級用教科用図書

採択を決定

○那須烏山市指定文化財の指定を決定

○就学指定校の変更を承認

第9回教育委員会（8月21日）

○区域外就学の許可を承認

○準要保護児童生徒の認定を承認

○教職員の懲戒処分の内申を承認

○令和2年度那須烏山市一般会計（教育費関係）補正予算（第4号）を決定

○那須烏山市運動施設設置、管理及び使用料条例の一部改正を決定

▼その他の出席

・9月19日（土）土曜授業訪問（各小・中学校）

・同じく人事院勧告に基づき「市職員給与条例」および「市一般職の任期付き職員の採用及び給与の特例に関する条例」を一部改正し、職員などの期末手当を引き下げました。

・地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、「市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例」を一部改正しました。

・市道における車両の損害事故に伴う損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分2件を報告しました。

・小倉自治会長などから提出された「新型コロナウイルスに対する社会的検査について」の陳情書が採択されました。

・市職員給与条例の任期付き職員の特例に関する条例を一部改正し、職員などの期末手当を引き下げました。

・地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、「市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例」を一部改正しました。

・市道における車両の損害事故に伴う損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分2件を報告しました。

・小倉自治会長などから提出された「新型コロナウイルスに対する社会的検査について」の陳情書が採択されました。

サッカー関東大会で大健闘

烏山中3年の小幡心さん（谷浅見）が所属する栃木SC U-15が、11月7日（日）から宇都宮市で開催された高円宮杯JFA第32回全日本U-15サッカー選手権大会関東大会に出場しました。同チームは2試合に勝利し、準決勝まで進出しました。また、11月8日（月）の2回戦では、フォワードとして出場した小幡さんが見事、ゴールを決めました。自ら興味を持ち、小学2年生からサッカーを始めたという小幡さん。試合に向け、週に5回の練習に励んでいたそうです。小幡さんは、「関東大会は強豪チームばかりで準決勝で負けて

しまったが、自分の力を出し切れた。仲間と協力して良い内容の試合ができ、ゴールも決められたのでうれしかった。これから更に練習を頑張り、高校に進学しても活躍したい」と話していました。



これからも頑張りますと意気込む小幡さん

国井豊副市長が退任



職員から花束を受け取る国井氏

これまで副市長として大谷市政や川俣市政を支えてきた国井豊氏（落倉）が、12月31日（木）をもって退任しました。国井氏は、昭和44年に烏山町役場に奉職し、平成6年に農政課長に就任。その後、建設課長、健康福祉課長、企画財政課長、合併後の那須烏山市総務部企画財政課長、総合政策課長を歴任し、23年3月末に退職しました。23年6月から25年1月までは市観光協会事務局長を務め、同年2月から第3代目となる那須烏山市の副市長に就任し、永きにわたり地方行政の振興・発展に貢献されました。

健康寿命をのばそう！アワード

ふれあいの里が厚生労働大臣優秀賞

「高齢者ふれあいの里」事業が、厚生労働省主催の「第9回健康寿命をのばそう！アワード」の介護予防・高齢者生活支援分野で、厚生労働大臣優秀賞を受賞しました。県内自治体では初の受賞です。

「高齢者ふれあいの里事業」は、地域に住む高齢者などが交流することで、社会的孤立の解消を図り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするための市独自の取り組みです。介護予防や認知症予防のために、地域の人たちがスタッフとなり、公民館などの

身近な場所を利用して運営しています。平成23年に開所した向田ふれあいの里を始め、現在は、市内15の自治会などで取り組んでいます。

11月30日(月)に、無線通信によりパソコンの画面越しで行われた授賞式で川俣純子市長は、「地域の人が積極的に活動してくれているおかげで今回の受賞となった。これからも健康寿命を延ばすために、この取り組みが多くの自治会などに拡大して行って欲しい」と受賞を喜んでいました。

市×商工会青年部×社会福祉協議会 相互協力協定で災害に備える

11月27日(金)、市と商工会青年部(榎山敏夫部長、市社会福祉協議会(丸山眞一会長)が「災害時の支援に関する相互協力協定書」を締結しました。

この協定は、災害時に3団体が包括的な連携のもと、それぞれの持つ資源を有効に活用し合うことで支援を効率的・効果的に行えるよう、平時からの体制づくりを行うおうというもの。昨年の令和元年

東日本台風(台風第19号)の災害時に同協議会の災害ボランティアセンターにおいて人員やスコップ、ブラシ、軽トラックなどの資機材が不足していたことから、今回、相互協力協定につながりました。

商工会青年部は、45歳以下の若い経営者で組織されており、資機材の調達や自社の従業員をボランティア活動へ送り出せることから、災害現場に迅速に駆け付けられる



協定を締結した左から榎山部長、川俣市長、丸山会長



授賞式の様子

新規就農者を確保 支援対策協議会を設立

JANAす南と那須烏山市、那珂川町、両市町農業委員会では、11月24日(火)、JANAす南本店で、「那須地域新規就農者支援対策協議会」の設立総会を開きました。

協議会では、農業人口の減少や高齢化による担い手不足が進み、地域内での新規就農者の確保が困難になっていることから、今後、就農希望者の技術指導のほか、農地の紹介やあつせん、就農後のフォローアップなどを行います。来年度には、梨生産の研修生を募集し、1年間の研修カリキュラムを用意する予定です。

協議会会長に就任した同JANAの高野修営農部長は設立総会で、



協議会役員のみなさん

「これまで南那須就農支援ネットワーク会議で支援してきたが、今後は協議会で就農者の育成・支援に努め、地域農業の活性化につなげたい」とあいさつしました。

自治会連合会研修会

12月11日(金)、市自治会連合会(中山糸男会長)の研修会が、烏山公民館で開かれ、行政区長や副区長、地域住民など約120人が参加しました。

研修会では、県保健福祉部保健福祉課地域保健担当の落合真実さんが、「災害時にも活きる平時からの支え合い体制づくり(避難行動要支援者対策から考える)」をテーマに講演。落合さんは、平時の備えとして自分の身の安全を守るための準備や身近な避難行動要支援者への声かけ見守り活動、災害時の活動として避難行動要支援者への避難支援や安否確認を行うことが大切と呼びかけました。

共に支え合う

体制づくりを考える



落合さんによる講演

また、市の「高齢者ふれあいの里事業」に対し、「地域のつながりを平時から保つことができることに加え、避難所まで自分で歩いて行くための体力づくりにもなり、素晴らしい取り組み」と高く評価しました。



新型コロナウイルス感染症

全国でGOTO一時停止

医療現場に危機迫る

メリットがあります。市役所烏山庁舎で締結式に出席した檜山部長は、「東日本台風災害では、商工会青年部として活動ができなかったが、協定締結により災害時に現場に駆け付けたり、

資機材を提供したりできる。今後は、部員が持っている資機材のリストアップなどを行い、災害が発生した際に迅速に行動できるように備えたい」と話していました。なお、協定締結を機に災害ボランティアアセンターへの登録方法も改められ、従来の申請書を同協議会へ提出する形から、ホームページよりオンラインで登録できるように改善し、登録者の増加が目指されます。

3度目の感染拡大止まらず

12月に入ってもなお、全国で感染者が増加し続けています。

防衛省では、医療体制がひっ迫している地域に看護師などを派遣することとしており、9日㈫から北海道に、医療支援を行うための自衛隊の災害派遣が行われ、大阪府でも15日㈫から看護師などが派遣されました。

さらに、14日㈫には、政府が28日㈫から1月11日㈫までの間、GOTOトラベルを全国で一時的停止とすると発表。これに先立ち、札幌市と大阪市に加え、東京都と名古屋市を目的地とする旅行を停止し、これらを出発地とする利用も自粛を呼びかけました。飲食店や宿泊施設などで激減し

ていた客足は、「GOTOキャン

ペーン」を追い風に、10月以降徐々に回復していましたが、感染の再拡大とともに予約のキャンセルが相次いでいました。これにより、年末以降の見通しがつかず、今後どこまで影響が続くのか関係者の間では懸念されています。

東京都では、10日㈫、初めての600人を超える感染者を確認。その後も600人前後の感染が続き、さらに、17日㈫には821人と最多を更新したほか、死亡者も増加するなど予断を許さない状況になっています。

県内でもクラスター発生

栃木県では、8日㈫現在の入院患者数(予定者含む)が、181人と最多となり、病床稼働率も7日㈫現

在で42・8%となっています。

対応に多くの医療資源が必要となる重症者数も11人で最多となるなど医療現場への負荷が高まっています。

また、各地でクラスターが発生し、感染者が急増。15日㈫には、芳賀町でクラスターが発生し、1日当たりの感染者数が35人と最多を更新しました。さらに、23日㈫現在、県内の感染者数が1100人を超えました。

さらに、市内でも広報なすからすやまの最終校正間際の年末に1名の感染者が発表されました。市民の皆さんは、引き続き感染防止に努めるとともに、感染者や医療従事者への誹謗中傷を慎むようお願いいたします。

差別や誹謗中傷を無くそう シトラスリボンを寄付

12月15日㈫、「障がい者就労継続支援施設すずらん」の山本弘子さん(三箇)と押久保典幸さん(初音)が制作したシトラスリボン200個が寄付されました。



左から金枝さん、押久保さん、山本さん

シトラスリボンは、新型コロナウイルスの発生当初、上川井の金枝明子さんから、市や市社会福祉協議会、山あげ会館などに300個以上のリボンが寄付されました。配布終了後も多くの問い合わせがあったことから、同施設の利用者が作り方を教わり今回の寄付につながりました。

制作した山本さんは、「初めは難しかったが慣れると1日に20〜30個作ることができた」と笑顔で話していました。リボンは、市や市社会福祉協議会窓口などに設置する予定です。

♪長寿おめでとう♪♪♪♪♪

星さんと宮下さん

満100歳

星エツ子さん（滝田）が11月29日（日）に、宮下末吉さん（初音）が12月5日（日）に満100歳を迎えました。

星さんは現在、市内の介護施設で生活していますが、裁縫が得意で、よく浴衣などを作っていたそうです。また、お嫁さんの作る肉料理が好物でよく食べていたといいます。長く農業をしていて、体をよく動かしていたことが、長寿につながったようです。



星さん

一方、宮下さんは現在、奥さんと一緒に市内の介護施設のデイサービスに通いながら自宅で生活しています。以前は林業をしていて、最近まで植木作業をするほど元気。得意の民謡を歌うことが大好きで、「好き嫌いしないで何でも



宮下さん

も食べることが健康で長生きにつながった」と話していました。

県内最高齢に 滝田の山崎さん

山崎ハギさん（滝田）が県内で最高齢（108歳）となりました。山崎さんは、明治45年6月18日生ま

田んぼの学校

収穫感謝祭で里山の遊び楽しむ



11月28日（日）、志鳥倶楽部（滝口清榮会長）により、「収穫感謝祭」が開かれ、親子連れなど約30人が参加しました。

当日は、南那須図書館職員による絵本の読み聞かせや音の旅人くみ∞せいによる里山コンサートが行われ、子どもたちはリコーダーで演奏をしたり、一緒に歌を歌ったり

クリスマスリースを作る子どもたち

と楽しいひと時を過ごしました。

その後、各グループに分かれてクリスマスリース作りや手作りたこ揚げ、ペットボトルロケット飛ばしなどが行われ、子どもたちは元気いっぱい里山の遊びを体験しました。

また、今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年大人気の食事は行われませんでした。会場の最後には、お土産として炊き立ての古代米と志鳥地内で収穫されたコシヒカリが手渡され、参加者は嬉しそうに持ち帰っていました。

以前は自分で畑を耕したり、土木建築などの仕事をしたりして、日々体を動かしていました。また、縫物など細かい作業も得意だったそうです。

現在は、市内の介護施設で過ごし、長寿の秘訣は、「好き嫌いをなく何でもよく食べること」だとか。12月5日（日）に川俣純子市長が訪問すると、「ありがとうございます



山崎さん

います」と笑顔を見せ、広報のカメラに向かって手を振ってくれました。

木漏れ日マーケット

晴天のもと大盛況

11月29日（日）、市武道館駐車場で「第7回OGGANE木漏れ日マーケット」が開かれ、親子連れなど700人あまりが会場を訪れました。

これは、地域のコミュニケーション

をを図るとともに、駅前を活性化しようとする地域住民や地元企業、まちづくり団体などが協力して開催しているもの。今回はコロナ禍での開催となりましたが、来場者の検温や記名などの感染症対策を徹底して行われました。

当日は晴天の中、ステージで荒川小吹奏楽部の演奏や子どもたちによるダンス発表、ビンゴ大会などが行われたほか、軽食・野菜の販売やディスプレイアート体験など多くの模擬店も出店されました。

実行委員会の矢口和美委員長は「感染症対策に協力いただくとともに、たくさんの方の支えにより開催することができて良かった」と笑顔を見せていました。



感染症対策をしながらもにぎわいをみせる会場

身近な秋みつけ！

子どもたちが落ち葉でアート

なすから子結び団（平野達朗代表）による「落ち葉でアート」が、11月29日（日）、清水川せせらぎ公園で開かれ、親子連れなど34人が参加しました。

これは、公園を探検しながら落ち葉や木の実、枝を拾い集め画用紙に貼ったり、色を塗ったりして身近な秋を楽しもうというもの。子どもたちは、公園のあちこちに

落ちている赤や黄色など色とりどりの落ち葉や枝を集め、思い思いの作品を仕上げました。

平野代表は、「外で遊ぶ楽しさや身近なところにある自然、秋から冬への季節の移ろい子どもたちに感じてもらえれば嬉しい。今後も、コロナ対策をしながら子どもたちが楽しめるイベントを企画していきたい」と話していました。



落ち葉や木の実で作品を作る親子

交通安全県民総ぐるみ運動 年末の交通事故防止を呼びかけ

12月11日（金）から31日（木）にかけて「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」が行われ、交通事故が多発す

る年末に、市民一人ひとりの交通安全意識の向上と交通事故防止の取り組みが進められました。本市



上：特別街頭指導で交通安全を呼びかける関係者
下：午後4時のライト点灯を啓発

でも、期間中に早朝街頭指導を行うなど、ドライバーや登校中の児童・生徒に交通安全を呼びかけました。

初日の11日（金）には、旭交差点で、市と那須烏山警察署、交通安全協会、安全運転管理者協議会などの16人が特別街頭指導を行いました。当日は、啓発チラシや同協会女性部会が手作りしたお守りなど約1000個を信号待ちのドライバーに手渡し、事故防止を促しました。また、21日（日）にも、「ライト4（フォー）運動」強化の日として、市内のスーパーマーケットで買い物客へ午後4時にライトを点灯することを呼びかけました。

那須烏山ジオパーク構想だより ④④

～那須烏山市の地層特集～

今回は、関東ローム層を紹介します。

関東ローム層は、赤茶・オレンジ色っぽく、粘土質なのが特徴です。1万～60万年前の火山の噴火で降り積もった灰から成る陸成層で、これまで紹介した各地層を覆っています。また、風の作用によって運ばれ堆積した地層である「風成層」で、今市軽石、鹿沼軽石などのテフラ（ギリシャ語で灰。火山灰をはじめ細かい火山噴出物のこと）を挟むことが

あります。

この層は、市内でも比較的容易に観察することができます。那須烏山ジオパーク構想では、縞模様が分かりやすいうえ、広い敷地で比較的簡単に観察が可能な曲畑地区内にある大きな露頭を教育の場として活用していきます。

今月号で、5号にわたりお届けした市内の地層特集を終了します。次号からはまた、ジオサイト関連を中心に紹介します。



縞模様が観察しやすい曲畑の関東ローム層

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住所
 石川 遥 (輝・啓吾・迪世)上 境 所
 大金 楓 (季・順・由莉)志 鳥
 萩原 咲 (幸・幸男・梨絵・南2丁目)野
 鈴木 大 (士・崇昭・祐美子)興 野
 関根 想 (奈・昌人・瞳)滝 田
 木嶋 穂 (細・健太・亜由香)神 長
 佐藤 史 (隼・和義・有名)三 箇
 高津戸 稀 (菜・理人・正子)滝 田

ご寄付ありがとうございました★

■ふるさと応援寄付金
 社会福祉法人正州会様 (三箇) から10万円、小室有輝様 (神奈川県川崎市) から5万2千円、榎本裕様 (東京都大田区) から2万円、村田清次様 (埼玉県上尾市) から1万7千円、川原宏之様 (千葉県佐倉市)、江口文仁様 (大阪府大阪市)、磯三男様 (神奈川県相模原市)、水野真寿様 (東京都杉並区) から各1万円、匿名希望者様92人から130万4千円が本市に寄附されました。



オクトバー・ラン&ウォーク 集計結果を報告します！

10月の1か月間、専用アプリを使用して走行、歩行距離を競う「オクトバー・ラン&ウォーク2020」が10月末で終了しました。
 本市では、ランニングの部に32人、ウォーキングの部に107人の合計139人が参加しました。全国の参加自治体は、137自治体で、自治体対抗戦と市内走行距離のランキングは左表のとおりです。
 全国の上位入賞者と抽選当選者には、主催者から景品が贈られます。
 また、自治体対抗ウォーキング初開催を記念して主催者からいただいた景品を、市内ランニングでランニングの部3位までの人とウォーキングの部10位までの人にお渡しします。該当する人は、2月26日(金)までに生涯学習課(☎0287-8816223)までご連絡ください。(期限を過ぎた場合はお渡しできません。)
 アプリは引き続き使用できますので、体力および健康維持増進のためにご利用ください。

全国参加自治体対抗戦ランキング【那須烏山市】

ランニングの部		
1人あたりの平均距離	全員の累計距離	人口あたりの参加率
2位	69位	28位

ウォーキングの部		
1人あたりの平均距離	全員の累計距離	人口あたりの参加率
103位	53位	16位

市内ランニングの部 走行距離ランキング

順位	10月 走行距離	ニックネーム
1	851.1km	KTテープ 柳田
2	823.2km	はんこ〜ず
3	583.7km	ひ
4	262.6km	びぼきち
5	252.6km	非公開
6	150.8km	道
7	143.2km	まさ
8	97.4km	リーリヤ
9	86.2km	非公開
10	69.9km	こまった

市内ウォーキングの部 走行距離ランキング

順位	10月 走行距離	ニックネーム
1	877.8km	ハルノチャン
2	521.5km	ドイル
3	517.7km	ちゃんましゅ
4	342.0km	tama575
5	294.1km	メタぼんの PaPa
6	280.0km	ウガンダ
7	279.1km	ちゃんひい
8	278.3km	SANA
9	271.1km	ゴサク
10	271.0km	ミスター シュガー

編集後記

○新年あけましておめでとうございます。
 ○さて、2週間ほど早い締め切りもなんとか乗り切り、ほっと一息と言いたいものの、編集後記を書いている今日はクリスマススイブ。早く大掃除をしないとあとという間に年が明けてしまいます。もうサンタクロースは来ませんが、お寿司とケーキを食べられたので大満足です。気持ちよく新しい年を迎えるため気合を入れて掃除したいと思います。食べた分を消費するためにも。
 ○お正月の楽しみといえばお餅です。我が家では、12月27日(日)に餅つきをするそう。個人的にもち米とお餅の間の状態が一番好きなので、いかに祖母にバレないようにつまみ食いするか、作戦を練っています。そして、今年は何年かある一年にしたいです。(餅だけに)
 ○はじめまして！Mです。広報担当になって、あっという間に8か月。時間の早さに驚く反面、写真を撮ったり取材先でみなさんのお話を聞いたり、楽しい1年でした。
 ○今年もOとMが色々なところに取材に行きますので、どうぞよろしくお祈りします！取材依頼もお待ちしております！



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2020.12.1現在
 ()対前月比

人口 24,563(-66)

男 12,263 女 12,300

出生 8 死亡 48

転入 35 転出 61

世帯数 9,237

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『AI大図鑑』 松尾 豊
 『岩合さんちのネコ兄弟』岩合 光昭
 『藤井聡太のいる時代』
 朝日新聞将棋取材班
 『日曜日は青い蜥蜴』 恩田 陸
 『オルタネート』 加藤 シゲアキ
 『悪魔を殺した男』 神永 学
 『Seven Stories』
 糸井 重里

★児童図書★

『妖精図鑑』 エミリー ホーキンス
 『教えて！感染症2』 土井 洋平
 『こんなにスゴイ！未来のせかい』
 増田 まもる
 『もしもトイレがなかったら』 加藤 篤
 『コツがつかめる！体育ずかん』
 遠山 健太

『星空としょかんへようこそ』

小手鞠 るい

『十二支のお雑煮』 川端 誠

『そばにいるよ』 ふくはら さなえ

『できるかな?』 エリック カール

★CD★

『JOKER』 中島 美嘉
 『ひなたごか』 日向坂46
 『俺のRequest』 JUJU
 『This is 嵐』 嵐

★DVD★

『アルキメデスの大戦』山崎 貴監督
 『柘榴坂の仇討』 若松 節朗監督
 『カツベン』 周防 正行監督
 『ロックダウン非常事態』
 ベン・マクファーソン監督
 『メリー・ポピンズ リターンズ』
 ロブ・マーシャル監督

文芸コーナー★

俳句

二拍手を父に合せて初参

伊藤 博志(田野倉)

生かされて金婚式や福寿草

塩坂美枝子(南大和久)

憂きことの追ひかけて来る夜長かな

佐藤 亮子(旭)

ウォーキング杖持つ手にも秋深む

和久 サク(野上)

川柳

今日もまた笑顔で暮らす共白髪

五月女佳子(谷浅見)

朝ドラで軍歌聞きたび涙する

羽石 妙子(向田)

よく晴れた富士の眺めは日本一

関 元氣(小埜)

好き勝手それでも縁で五十年

小川 昌子(向田)

短歌

止まぬ雨はながい如くにコロナ禍の収束する

滝口 節子 選

を待ちわびる日々

藤沼 美子(上境)

毎日が話題はコロナの暗きなか山の紅葉に心

和みぬ 高野 久子(大桶)

エイ、ヤアと空手の稽古に励む孫師走の月に

上達誓う 古内 晴代(金井)

柿の実を啄むヒヨドリ揺れながらよくぞバラ

ンスとれるものかな 平野フミ子(向田)

水野 信一 選

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

夜回りで生活を守る

防犯・防火診断

市と那須烏山警察署、那須烏山消防署、市消防団、市自治会連合会では、12月4日(金)、年末年始の特別警戒の一環として市内を夜間巡視する「防犯・防火診断」を行いました。

当日は、年末・年始に多発する犯罪や火災を未然に防ごうと、関係者など約62人が10班に分かれて金融機関や住宅地の夜回りを行い、防犯対策の取り組み状況や屋外に燃えやすい物がないかなどを確認し、防犯と防火を呼びかけました。



金融機関で夜間金庫の点検をする関係者



烏山聖マリア幼稚園



すくすく保育園



つくし幼稚園

幼稚園・保育園 生活発表会

12月に入り、市内の幼稚園・保育園で発表会が行われました。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響により時間を短縮しての発表となりましたが、子どもたちは一生懸命にダンスや劇を披露しました。発表会の様子を写真で紹介します。



烏山みどり幼稚園



にこにこ保育園



烏山保育園

特別支援学校ってどんなところ？

～特色ある活動②～

南那須特別支援学校では、働く意識を高め、必要な態度・技能・知識を身に付けることを目的に週2日「作業学習」を行っています。学習では、1年生から3年生までを縦割りで班編制し、高等部には6つ、中学部には4つの作業班があります。

農芸班（高等部）

作業内容は、農作物の栽培（種まき、苗植え、収穫、出荷準備）やこぶし祭での販売のほか、耕うん機を使った畑作りやくわなどを使ったたね作りをしています。生徒は「草むしりは大変だけど、

木工班（高等部）

作業内容は、木工製品（積み木パズル、ストラップ、マグネットなど）の製作やくぶし祭での販売のほか、電動糸のこ、電動ドライバーなどの操作も学んでいます。

生徒は、「機械を使うときに緊張するが、完成するとすごく嬉しい」と話していました。

各活動では、作業内容だけでなく、挨拶・返事・報告、身だしなみ、会社のルールなどの学習も併せて行っています。

教務主任 増子雅義



農芸班のこぶし祭での大根販売



木工班の積み木パズル作り